

オスプレイがヘリが部品が  
空から落ちてくる↓

これが沖縄の現実です

新米軍基地はいらない  
普天間基地は撤去を

いくら何でも  
あまりに  
ヒドイよ!



## 沖縄の人々とともに声を

沖縄で2月9日、また米軍普天間基地所属の輸送機オスプレイが部品落下事故を起こしました。縦70cm、横1m、重さ13キロの部品。直撃すれば、人命を奪いかねませんでした。オスプレイは一昨年12月に名護市安部で、昨年8月にオーストラリアで墜落。各地で不時着もくり返しています。普天間基地所属の米軍ヘリも、墜落、不時着、保育園や小学校への部品落下をくり返しています。この基地と沖縄県民が共存できないことは明らかです。だからこそ県民は普天間基地の運用停止、撤去、名護市辺野古への新たな米軍基地建設の中止を求めているのです。ところが安倍政権は、米軍機の訓練を放置し、名護市辺野古への新基地建設をゴリ押ししようとしています。

## 「新基地反対」の民意は変わりません

2月4日、名護市長選挙が行われました。新基地建設に反対を貫いてきた稲嶺進市長が敗れ、安倍政権が総がかりで後押しした渡具知氏が選出されました。渡具知氏は選挙中、一切基地問題を語りませんでした。出口調査では、辺野古基地建設に「反対」が64.6%に上りました（共同通信と地元2紙の共同実施）。県知事、衆参選挙で県民は明確に基地建設ノーを示しています。安倍政権は、基地建設を中止すべきです。

## 県議会が全会一致で普天間基地の「即時運用停止」要求

普天間基地所属米軍機の事故が相次ぐ中、沖縄県議会は2月1日、自民、公明も含む全会一致で「民間地上空での米軍機の飛行・訓練をただちに中止すること」「ただちに普天飛行場の運用を停止」「米海兵隊を沖縄から早期に国外・県外に移転すること」を求める決議をあげました。安倍政権はこれに従うべきです。

日本平和委員会

2018年2月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277